

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第35回）の概要

1 開催日時

令和3年8月6日（金） 10:00から11:10まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室

3 出席者

評価委員会委員： 5人

事務局： 4人

法人： 13人

4 内容

(1) 県健康福祉部審議監挨拶

(2) 議事

令和2年度における法人の業務の実績に関する評価（素案）について

- ・ 事務局から資料1～資料4について説明

主な質疑応答・意見

〔●委員 □法人 △県〕

- 素案4ページの財務内容のところ、「令和2年度は平成30年度及び令和元年度の2年間に引き続き経常収支の黒字を維持し」という表現に続き、「経常費用に対する経常収益の割合が100%を超えており」という表現があるが、これらの表現は黒字ということが重複しているので、どちらか削った方がよいのではないか。

- 前回の評価委員会の資料3の23ページにあるように、令和2年度決算を企業会計ベースと官庁会計ベースで評価していることから、表現が重複しているということはない。

- 5Gを活用した遠隔指導の全国初の実証実験を美和病院で行い総合医の養成に努めているという記載があるが、引き続き、この事業を拡充するような計画があるならば、そのようなニアンスを書き加えた方がよいのではないか。

- △ へき地医療は島しょ部もあり、こういったところで可能性は今後とも広がっていくと思うが、これは今後の検討課題ということで、今はこういう表現にさせていただきたい。

● 最新の放射線治療を提供できるようリニアックを整備したと記載があるが、多分、どんどん利用されていると思うので、その使用状況を書き加えた方がよいのではないか。

● 素案の本文には、細かいデータまでは載せないということを原則としている。

△ リニアックについては、令和2年度に整備して、実際に動かし始めたのは令和3年と病院機構から聞いていることから、このような書きぶりとしている。

● 「内部統制の推進」の書きぶりについて、内部監査自体は内部統制の中の1つなので、充実・強化を図っているというのは間違いないが、内部監査を実施したことで内部統制の実があがっているかどうかというのは、また、別の話である。「内部監査規程やリスク管理規程に基づき、両病院を対象に内部監査を実施し、内部統制の充実・強化を図っている。」という表現が気になる。

△ 「内部監査規程やリスク管理規程に基づき、両病院を対象に内部監査を」の後の表現について、「実施し」を「実施するなど」に修正する。

● 後発医薬品の採用を進めて費用の節減に取り組んでいることはとてもいいことだと思う。また、消費者すなわち患者から見ると患者にとっても、大変なメリットがあると思う。

(3) その他

- ・ 次回の評価委員会は、来年度の予定
- ・ 来年度は、年度評価、中期目標期間終了時の見込評価並びに次期中期目標及び中期計画の策定の審議を行う予定